



令和7年6月30日

園 だ よ り

たかがみねこども園

梅雨に入ったかと思ったら今年は平年よりも22日早く梅雨があけました。これから暑い夏が続くと思うと、少し気が重くなりますね。しかし、子どもたちは汗ばみながらも元気いっぱい過ごしています。プールや水遊び、氷遊びなどを通して暑い季節も快適に、そして安全に過ごせるように工夫していきたいと思います。

～ 7月の目標 ～

・異年齢児のお友だちとなかよく遊ぼう

異年齢児のお友だちをいたわる優しい気持ちを育てていきます。

・自然に興味、関心を持つ

虫やお花を探したり、泥んこ遊びや水遊びなどを通して、夏ならではの自然にたくさん触れ、興味や関心を広げていきます。



感じる力と伝える力を伸ばそう

「昨日どこに行ったの？」という質問には、すぐに答えられる子どもたちも、「どんなことが楽しかった？」と聞くと、考えこんでしまったり、うまく答えられないことがあります。「場所」や「出来事」などの事実を話せても、「楽しかった」「びっくりした」「うれしかった」といった気持ちを言葉にすることは、まだ難しいようです。

【五感を使った体験で感じたことを伝えよう】

例えば、サラダ作り。「トマトはつるつるしてるね」「キウイはざらざらだね」など、お料理をしながら食材に触った感覚を話してみましょう。「つるつる」「ざらざら」のようなオノマトペ(擬音語・擬態語)を取り入れると、子どもも楽しく表現しやすくなります。その他にも「レモンはすっぱい匂いがするね」「きゅうりを切るとトントントンって音がするね」「冷たくておいしいね」など、五感で感じたことをたくさん言葉にしてみることが大切です。日常の体験と言葉が自然と結びつくことで、表現力がぐんぐん育っていきます。

また、幼児組になったら、毎日の出来事を「文章で話す」練習をしましょう。子どもたちに「今日は何をしたの？」と聞くと、『折り紙』など一言だけで返ってくることはありませんか？保護者はその一言から状況を汲み取って、「誰と？」「何を作ったの？」と会話をつなげることができますが、やりとりが単語だけで終わってしまうことも多いものです。そんなときこそ、「文章で話す」ことを意識していくと、話す力がぐんぐん伸びていきます。

※ 来月は年齢に応じた話す文の数と話すときの3つのポイントをご紹介します。

